

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

| | | | |
|-----|------------------|------------------|--------------------|
| 学校名 | 県立神奈川工業高等学校（定時制） | 課程・学科 教育部門・学部 | 定時制 機械科・建設科・電気科 |
|-----|------------------|------------------|--------------------|

1 学校のミッション

- 定時制の課程学年制専門学科を設置する高校として、生徒の多様な特性や地域・学校等の実情を踏まえ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成をめざし、専門性の向上を図るとともに、産業界等との連携による実践的・体験的学習を推進し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学力の育成、専門的な技術の習得、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 他者を尊重し協働により課題解決を図ることができる人材の育成をめざし、人と科学技術・自然との共生の意識の醸成、社会に主体的にかかわろうとする意欲等、これからの中学生に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力を育成することができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 人間性豊かな工業人の育成をめざす
- ・組織的な授業改善により学習意欲を高め、確かな学力の向上をめざすとともに、定時制課程の工業高校としての教育活動のさらなる充実を図る。
- ・豊かな人間性や社会性を培い、社会に主体的に関わろうとする意欲を高める教育に取り組む。
- ・一人ひとりの能力や適性に応じた進路指導を充実させ、社会的、職業的に自立することを目指した学校づくりを推進する。
- ・地域との連携を通して教育活動の活性化を図るとともに、学校防災力の向上に努める。また、不祥事防止に取り組み、信頼される学校づくりを推進する。

3 計画策定時点での課題

- 学び直しや生徒が互いに学び合う学習機会を増やし、ICT機器を積極的に活用した組織的な授業改善に努め、知識・技能の習得のみならず、生徒の主体的に学ぶ意欲を高める一層の取組が必要である。
- 基本的生活習慣や相手を思いやる心の育成、及び学校行事を通して、社会を構成する一員としての自覚を育む教育活動に、継続して取り組む必要がある。
- 生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行い、卒業と進路希望の実現に向けた意識改革を促すとともに、きめ細かい指導に取り組む必要がある。
- 夜間定時制という時間的制約もあり、十分な地域との連携ができていない。

4 4年間の目標と主な方策

| 視点 | 4年間の目標 | 目標達成に向けた主な方策 |
|-----------------------|---|---|
| 1 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・工業の専門性の向上を図り、実際的・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するため、知識・技術の習得のみならず、主体的に学ぶ意欲の向上を図り、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用や組織的な授業改善等により、生徒の学習に対する意欲を高めるとともに、自らがどのように学ぼうとしているかを評価し、「なぜ?」「どうして?」といった視点から、問題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を育む、魅力ある授業の展開を目指す。 |
| 2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性の育成を図るために、学校生活の基礎を作るための生徒支援・教育相談の充実とともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ・生徒が中心となって、活動する学校行事を通して、社会に主体的に関わろうとする意欲を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報交換会等で情報を共有し、職員研修で生徒指導力を向上させる。また、SC・SSWとの連携を強化することで、組織的な指導・支援を行える体制を作る。 ・生徒が準備・企画から携わることで、生徒が参加できる行事運営をする。また、そのような活動を通して自己肯定感を強め、社会に関わる意欲を高める。 |
| 3 進路指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生き方に対応した情報収集や情報提供を行い、働くことを理解できるよう入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育実践プログラムに基づき一貫した指導を行い、生徒の希望に沿った進路が実現できるよう支援する。社会に開かれた教育課程を通して生徒が社会とつながる機会を創出し、働く意欲を醸成する。 |
| 4 地域等との協働 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加等貢献する意識を啓発する。企業との積極的なかかわりを持つ。 ・本校HPを活用し学校のPR、情報を発信する。 |
| 5 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ・生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適正な私費会計処理に努め、事故防止の意識をもって業務に当たる。 ・防災意識を高めて災害時の対応能力を身に付けさせる。 ・職員連絡ツールの活用を図り業務の効率化を目指し生徒と向き合う時間を確保する。 |